

# 清水町 議会だより



### 宮西達也さん

清水町出身の絵本作家。  
代表作に「おまふうまそう  
だな」、ほか著書多数。



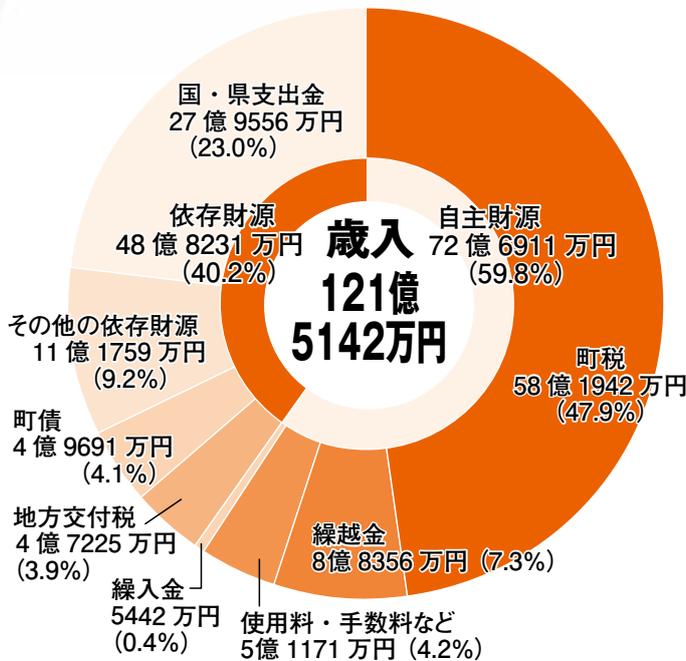
令和4年度決算を認定	
笑街健幸のまちの実現に向けて……	2
私たちの税金の使われ方……	4
本会議と委員会で審議しました	
一般質問 9人が町政を問う……	8
令和4年度	
政務活動費を公開します……	17
そこが知りたい! 議会のしくみその1…	18
清水町ふるさと大使	
宮西達也さんの絵本の世界にふれる…	20

# の実現に向けて

## 9月 定例会

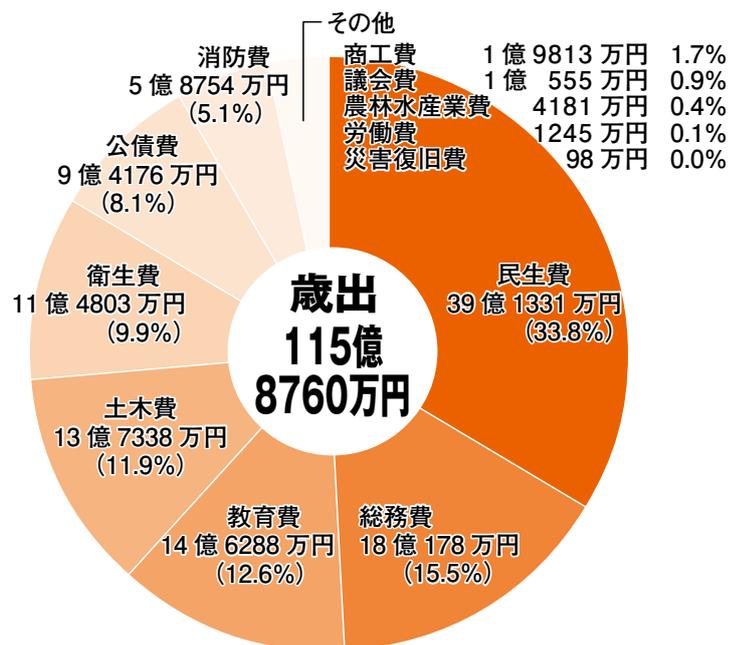
令和5年第3回定例会を8月31日から9月22日までの23日間にわたって開催しました。この議会では、副町長の選任、令和4年度一般会計歳入歳出決算や令和5年度一般会計補正予算（第5回）などの議案が提出され、すべて可決・認定されました。

一般質問では、9人の議員が質問をしました。



町税や使用料・手数料などが増加する一方、町債を大きく減らすことができた結果、前年度に比べて歳入総額は**0.3%の微増**となりました。

コロナ禍に伴う各種給付金の支援やワクチン接種の実施のほかプレミアム商品券の発行やまち歩きアプリの導入などを行い、歳入総額は前年度に比べ、**3.1%増加**しました。



### 一般会計・特別会計の決算の状況

会計名	歳入	歳出	採決の結果
一般会計	121億 5142万円	115億 8760万円	賛成 11人 反対 2人
特別会計			
土地取得	271万円	271万円	全員賛成
国民健康保険事業	27億 9332万円	27億 7317万円	賛成 11人 反対 2人
介護保険事業	25億 4418万円	24億 2908万円	賛成 11人 反対 2人
後期高齢者医療	4億 4571万円	4億 2940万円	賛成 11人 反対 2人

### 公営企業会計の決算の状況

会計名	科目名	収入決算額	支出決算額	採決の結果
下水道事業	収益的収入・支出	9億 7035万円	9億 1221万円	全員賛成
	資本的収入・支出	11億 8641万円	13億 3698万円	

# 令和4年度決算を認定

# 笑街健幸のまち

## 令和4年度の主な事業

### ゆうすいポイント事業

7233万円

地域経済や事業者、町民生活を支援するため、ゆうすいポイントカードの配布やポイント付与率20倍のキャンペーンなどを行いました。

ユーザー数 22,337人 (令和5年3月末現在)



### プレミアム商品券発行事業

3891万円

コロナ禍での町内の経済活動支援の1つとして、プレミアム率50%のプレミアム商品券を発行しました。

販売冊数 14,267冊



### オンライン訪問看護事業

110万円

令和3年度に引き続き、オンライン訪問看護事業を実施しました。

利用者 33人



### まち歩きアプリ事業

467万円

歩いて貯まる「けんこうポイント」をゆうすいポイントに交換できる、まち歩きアプリ PLUS-Walk清水町を導入しました。

登録者数 1,176人 (令和5年3月末現在)



### 柿田川公園整備工事

1703万円

広場の芝生の植栽と園路等の整備を行いました。6月の植栽作業には、多くの方々がボランティアとして参加しました。



# 使われ方

## 委員会で審議しました

### 緊急通報システム

**Q** 利用世帯が 263 世帯であり、独り暮らし高齢者世帯の約 10 分の 1 の利用にとどまっているが、普及を促進する考えは。

**A** 地域包括センター等と連携して、町民に周知し、利用促進に努めていきたい。

### みらい会議

**Q** 会議の意義は。

**A** みらい会議は、民間の様々な分野で活躍する方々で構成されている。

前例踏襲に陥りがちな行政において、外部の方々の見識や経験に基づく提言は、町政の推進に大変参考になる。



### 財政調整基金

**Q** 財政調整基金が大幅に増額したが、その分析は。また、基金の適正な水準は。

**A** 令和 3 年度の剰余金が増額となり積み増しできたことや、町税が予算を上回り繰入金を抑えられたことが要因である。

本町における基金の適正な水準は財政運営上、おおむね 14 億円と捉えている。

財政調整基金の推移（年度末現在）

令和 2 年度	3 億 1601 万円
令和 3 年度	5 億 3552 万円
令和 4 年度	10 億 8888 万円

### 手話奉仕員

**Q** 災害に備えて、避難訓練等で手話奉仕員が活動する場を考えると。

**A** 手話通訳者等派遣事業で通訳者の派遣要請があった方に、意見を聴きながら検討していきたい。

### 町税収入未済

**Q** 法人町民税の未納は回収できるのか。

**A** 納付に向けた交渉を行っている。国税、県税の担当者とも情報交換を行い、滞納の解消に努める。

### ふるさと納税

**Q** ふるさと納税の寄附額、流出額は。

**A** 令和 4 年度の寄附額（企業版ふるさと納税を除く。）は、2304 万円、令和 4 年の税額控除額は約 6400 万円であった。

**Q** 未収の対策の検討は。

**A** 全国的に口座差押え等の滞納処分を速やかに行う傾向にあり、本町もそのように対策したい。

**Q** 体験型ふるさと納税を検討しては。

**A** 体験型に近いものとして、店舗型ふるさと納税を導入した。体験型については、研究中である。



# 私たちの税金の

## 本会議と

### 学校給食 ごみ減量事業

**Q** 中学校の生ごみ処理機が故障し、西小学校の処理機も老朽化している。町の考えは。

**A** 1台数百万円する機器であり、更新には至っていないがSDGsの観点からも、順次更新したいと考えている。

### 公立幼稚園

**Q** 幼稚園の園児が減少しているが、町の認識は。

**A** 少子化、保育ニーズの高まり、保育料の無償化などの要因が重なったことや民間幼稚園を選択する方も少なからずいるものと認識している。

幼稚園の園児を増やすた

**Q** めの方策は。

**A** 預かり保育（朝8時から夕方5時まで）を保護者に説明し、利用を勧めている。今後も預かり保育の充実とPRを進めていきたい。

### 就学援助事業

**Q** 支援が必要な児童が増えている原因は。

**A** 卒業・入学の人数の差による増のほか、外国籍児童が増えたことなどによる新規認定の増によるものである。

**Q** 全ての児童へ学校生活費用を補助する考えは。

**A** 全ての児童への対応は困難であり、経済的に厳しい世帯などを支援することがこの制度である。今後もこの支援を続けていく。



## 討論

賛成 11人 反対 2人

### 地域経済の回復とまちづくり施策が両立

賛成  
です

まち歩きアプリの導入、柿田川公園や清水小学校教材園の整備、小中学校等の給食費の負担軽減事業、南小学校北校舎改築事業など、町民福祉の向上や子供たちの教育環境の整備に資する事業などが積極的に進められ、コロナ禍からの地域経済活動の回復と町が進めるまちづくりの主要な施策の両立が図られた決算である。

(野田 敏彦 議員)

### 取り組むべき施策が不十分

反対  
です

急遽中止となった湧水まつりについては、協賛金出資者に会計報告を丁寧にするべきだった。循環バスについては利便性を高めるべく早期に改善策を検討すべきだった。また、潜在的な待機児童解消のためにも保育士の正規職を増やすべきである。取り組むべき施策が行われていなかったり、または不十分であった。

(吉川 清里 議員)

# 国民健康保険事業特別会計

**Q** 国保財政が縮小傾向にあるが、どう考えるのか。

**A** 団塊の世代が75歳に到達することによる制度移行や被用者保険の適用拡大に伴い、税収、給付費は減少傾向にあるが、制度改革により県も保険者になったことから、財政基盤の安定化が図られている。

**Q** 国保加入者と社会保険加入者とは、保険税(料)の差が非常に大きいけど、どのように考えているのか。

**A** 医療保険制度の成立過程が異なるため、被保険者の負担に違いが生じるものである。国民健康保険では、所得の区分に応じた減免制度を設けており、所得のある被保険者の保険税と単に比較できるものではない。

**Q** 法定外の繰入れを行っているが、この理由は。また、今後の方針は。

**A** 国保の事業会計で実施する事業に係る経費のうち、保険税及び国、県の負担金で賄いきれない部分を一般会計から繰り入れて支出している。今後も同様の考え方で行っていきたい。

## 討論

賛成 11 人 反対 2 人

### 制度の安定運営に努めた

賛成  
です

高齢者人口の割合の増など、依然として厳しい状況だが、制度の安定運営に努めた。保険給付費が前年度と比べ減額となったことは、疾病予防による医療費抑制や特定健診、各種教室などへの熱心な取組によるものと推察される。

(寺島 俊郎 議員)

### 所得は低下しているが保険税は増加した

反対  
です

国保加入者の平均所得は低下しているが、保険税は増加し、負担が増えている。応益割の1つである均等割は子供が増えるほど負担が大きくなり、少子化対策や子育て対策に逆行するものである。

(森野 夏歩 議員)

全員賛成

## 条例改正

清水町印鑑条例の一部を改正する条例  
清水町道路路占用料等徴収条例の一部を改正する条例  
清水町都市公園条例の一部を改正する条例  
清水町普通河川条例の一部を改正する条例  
清水町営住宅条例の一部を改正する条例

人

事

3件の人事案件に同意しました。

〔副町長の選任〕

秋山 治美 氏

〔固定資産評価審査委員会委員の選任〕

岩崎 孝 氏

〔教育委員会委員の任命〕

望月 めぐみ 氏

# 介護保険事業特別会計

**Q** 介護予防の点を重視して、給付費や地域支援事業費を多く支出すべきではなかったか。

**A** コロナ禍による利用控えなどがあったと分析している。

一方で、要介護者が減少し、要支援者が増加している状況は、介護予防の事業効果の現れと考えている。予防に力を入れることは、介護保険制度を適正に運営していく上でも非常に重要であると認識している。

**Q** 介護保険が本人や家族を介護から救う制度となり得ているのか。

**A** 介護保険は本人や家族の負担軽減を図る制度である。高齢者が可能な限り住み慣れた地域で自立した生活を営むことができるように、介護予防の取組を推進するとともに、制度の安定維持に努める。



## 討論

賛成 11 人 反対 2 人

### 認知症ケアの向上に取り組んでいる

**賛成  
です**

要介護認定者数は計画の範囲内で推移しており、必要なサービスを提供しつつ、適切な財政運営が図られた結果だと推測される。包括的支援事業においては、支援体制の構築と認知症ケアの向上に積極的に取り組んでいる。

(松下 尚美 議員)

### 予防サービスに力を入れるべき

**反対  
です**

保険料が増加しており、生活が苦しい世帯が多いのではないかと懸念。また、介護施設などの介護サービスの負担が重い。介護予防については重度化を防ぐためにも、予防サービスに力を入れるべきであった。

(森野 夏歩 議員)

不採択

【結果】

静岡県労働組合評議会

【提出者】

求める陳情書

「最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める陳情書

審査結果

陳情の

土地取得特別会計歳入歳出決算、後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算、下水道事業会計決算を認定しました。

事業会計

その他

特別会計

# 9人が町政を問う

「一般質問」とは、行財政全般にわたる議員主導による政策の議論です。



清水町  
認知症にやさしいまちづくりを

## 問 認知症の診断費用の全額助成を

## 答 制度の在り方を検討していく



花堂 晴美

**問** 認知症の早期発見と重症化予防など早期対策として認知症の診断費用を全額助成しては。

**答** (福祉介護課長) 助成の対象や負担割合など制度の在り方について検討していきたい。

**問** 認知症にやさしいまちづくりを進めていくために、認知症の人や家族、民間企業やNPOなどとともに、主体的な政策形成を考えるワークショップを継続的に創設しては。

**答** (福祉介護課長) 様々な機会を捉え、地域の方々と一緒に考える場を設けていく。

**問** 民間の活力を活用した認知症カフェ(家族支援)の拡充を。

**答** (福祉介護課長) 認知症サポーター養成講座の講師と受講生を中心に、地域において認知症本人の悩みや、その家族の支援、認知症の正しい理解の啓発を目的としたチームオレレンジを設置したところであり、併せて住民主体の活動として、介護事業所を会場とした新たなオレンジカフェの設置が検討されている。認知症になっても安心して暮らし続けられる地域をつくるためには、住民の協力が不可欠であることから、地域住民や民間活力との協働による新たな支援策について検討していく。

## 女性活躍推進法の取組は

**問** 女性活躍推進により地方公共団体は、地域の企業をリードする行動計画の策定が求められている。現在、町では特定事業主行動計画を策定していないが、その理由は。

**答** (総務課長) コロナ禍により計画に掲げる取組事項が満足に実施できなかった。新型コロナウイルス感染症の終息時期を見据えて策定することとしたためである。

政策や方針決定の場に参画する機会を増やすとともに、研修などの機会を通じて女性職員のキャリア形成に対する意識や昇格意欲の向上に努めていく。

**問** 女性活躍について、女性職員の意見交換をする場を設定する等、仕事と家庭の両立をしながらキャリア形成しているよう、相談体制を整備しては。

**答** (総務課長) 職場全体、管理職、人事担当など、それぞれの立場での役割を明確にするなど、様々な場を通じて女性職員が相談できる環境づくりに努めていく。

**答** (総務課長) 日常から

質問者の動画が見られます





児童発達支援センター「ススミダス」(長泉町)

# 問 幼保再編計画に発達支援センターを

## 答 設置について考慮していく



松浦 俊介

**問** 小中学校の特別支援学級在籍児童数は、平成30年度は36人であったが、本年度は64人となっている。

本年度、幼稚園・保育所再編計画を策定するが、近隣市町にあるような児童発達支援センターの設置を計画に盛り込むべきでは。

**答**(こども未来課長) 関係部署と調整しながら、幼稚園・保育所再編計画の策定において、センターの設置についても考慮していきたい。

## 教職員等の人材バンクの創設を

**問** 岐阜県中津川市では、教職員等の人材バンクの登録制度を実施している。教員免許の必要な講師

**答**(教育総務課長) 教職員の人材情報については、県教職員人材バンクの登録制度を活用し、情報を

のほか、看護師・保育士・学校心理士などが児童生徒の学習支援にあたる「学習支援指導助手」、別室登校の子供たちの学習支援や生活支援を行う「個別支援指導助手」、特別な支援を必要とする児童生徒に寄り添い学習支援・生活支援を行う「特別支援指導助手」、免許資格は不要で学校と連絡を取りながら不登校児童生徒の家庭で訪問指導を行う「メンタルフレンド」など多様な人材の登録バンクを実施している。

町に講師及び支援員の登録を希望する方については、希望条件等を整理し、連絡が可能な体制を整えている。現行の人材把握や確保の手法を引き続き運用する中で、その課題を整理し、他市町の先進事例などを調査・研究していく。

参考になる事例だが、町の考えは。

**問** 本町でも、小中学校に、小学校低学年学校生活支援員、特別支援教育補助員、特別支援学級支援員、生活指導員、外国語支援員等の支援員や補助員が配置されている。西小学校では、児童数411人中、16%の64人

の外国籍等の児童がおり、5年前より5%増加した。外国籍支援員は、西小・清水中の卒業生から探すべきと考える。発達障害・外国籍児童数の増加により、支援員・補助員の勤務時間数や人員のさらなる確保の必要性は。  
**答**(教育総務課長) 特別な支援を必要とする児童・生徒の数が年々増加傾向にある現状を踏まえ、各種支援員の適正な配置を図るとともに、必要に応じてその確保に努めていく。

質問者の動画が見られます



# ここが聞きたい

## 問 総合運動公園の活用と整備を

### 答 有効な活用策を検討していく



寺島 俊郎

**問** 総合運動公園の利用状況は。

**答** (健康づくり課長) 多目的スポーツ広場はサッカーやグラウンドゴルフ、ホッケーなどの団体の利用が多く、年間延べ2万4814人、テニスコートは年間延べ1万2734人の利用がある。コロナ禍により利用制限等を行っていた令和2年度及び3年度からは回復傾向にある一方、ゲートボールコートについてはゲートボールを目的とした利用はなかった。

**問** 利用率の低い施設について、より効果的に活用するための変更の考えは。

**答** (健康づくり課長) スポーツ推進審議会をはじめとする関係機関の意見を伺いながら、メリットやデメリット、町民のニーズを踏まえ、望ましい利活用の在り方について検討をしていく。

**問** 利用者のアンケートではどのような意見があったのか。

**答** (健康づくり課長) 特に多い内容は、グラウンドやコート等の施設に対する不満や老朽化している箇所の整備についてである。

**問** 総合運動公園のスポーツ施設の状況をどのように把握しているのか。

**答** (健康づくり課長) 多目的スポーツ広場の人工芝については、平成15年のNEW!!わかふじ国体でのホッケー競技開催のため、平成13年度及び14年度に整備してから20年以上が経過しており、耐用年数8年を大きく超えている状況である。

**問** 総合運動公園のテニスコートを足に負担の少ない人工芝のオムニコートに整備する計画やそれに伴う夜間照明の設置など安全で利用しやすい施設に整備する計画があるのか。

**答** (健康づくり課長) 整備には多額な費用もかかることから、具体的な整備計画までには至っていない状況である。



活用が求められるゲートボール場

質問者の動画が見られます



今後、スポーツ推進審議会に意見を伺いながらゲートボールコートも含め、総合運動公園全体の有効な活用策を検討していきたい。

問 南小改築に太陽光発電設備の設置を

答 屋根などに設置を検討している



桐原 直紀

**答**（教育総務課長） 学校運営協議会委員からは、児童の学校生活や学校行事等に支障がないようにしてほしいとの意見を、また、教育委員からは、

ICT化に対応したゆとりある教室への拡張や避難場所としての活用を見据えた機能整備など、地域に開かれた学校施設となるようにとの意見をいただいている。

これらの意見は、現在進めている設計の参考としている。

**問** 改築に当たって現校舎に設置してあるエアコンはどうするのか。

**答**（教育総務課長） 北校舎に17台設置している空調設備は、引き続き学校で利用するため、全て移設する予定である。

移設箇所は、南校舎の特別教室や清水中学校の特別教室を検討している。

**問** 改築後の新校舎の防水対策は。

**答**（教育総務課長） 南小学校の地域は、ハザードマップにおいて、おおむね1000年に一度発生すると想定される最大規模の降雨に伴う洪水や内水氾濫による最大浸水深が3メートルと想定されているので、浸水による電源設備への被害を防ぐため、受電源設備の屋上等への設置を検討している。

また、建物躯体である鉄筋コンクリートに防水性の高い塗料を施すことで、浸水による影響が少ない構造も考えている。

**問** 今後計画されている清水中学校と西小学校は大規模改修を行うのか、それとも改築か。

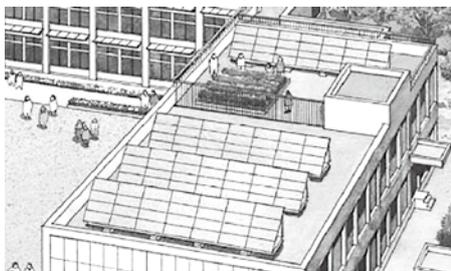
**答**（教育総務課長） 南小学校北校舎と同様に、建物の耐力度調査を実施し、危険度、劣化状況及び経費等について比較を行い、総合的に判断したいと考えている。

**問** 学校施設の長寿命化計画に太陽光発電の設置の検討を。

**答**（教育総務課長） 太陽光発電設備の設置については、脱炭素社会の実現に貢献するだけでなく、環境教育での活用や地域の先導的役割を果たすものと考えている。したがって、現在進めている南小学校北校舎の改築事業において、屋根などに太陽光発電設備の設置を検討しており、今後の学校施設長寿命化事業においても、同様に検討したいと考えている。

**問** これまで南小学校北校舎の改築に対して保護者や地域の方々、教育委員などからの意見等は。

**答**（教育総務課長） 令和8年4月からの新校舎の使用開始を目指し、基本実施設計を令和5年度中に完了し、令和6年度の夏季休業明けから仮設校舎を使用できるよう、建設及び引越しを進める予定である。



学校施設に太陽光発電を

出典：国立教育政策研修所文教施設研究センター

質問者の動画が見られます



# ここが聞きたい

## 問 自転車ヘルメット補助制度の導入を

### 答 他市町の動向を注視する



海野 豊彦

**問** 自転車事故の件数と損傷部位は。

**答** (くらし安全課長) 過去5年間の自転車の運転者が負傷した事故の合計は20件で、損傷部位は、

頭部5件、頸部(首)4件、脚部4件、その他は7件であった。

**問** 自転車ヘルメットの購入に補助制度の導入を。

**答** (くらし安全課長) 沼津警察署管内の沼津市と協議を進めるとともに、他市町の動向も注視しつつ、調査・研究を進めている。

**問** 自主防災組織等に對する補助金は。

**答** (くらし安全課長) 区運営等事業費補助金の中で6万3000円を交付している。

## 災害バルクの導入を

**問** 地区公民館へ災害バルク導入の考えは。また、町の支援策は。

**答** (町長) 災害バルクは、法人格を持つ自治区のみが対象であるという課題と1000万円程度の導入費に加え、維持管理費も必要であり、町単独で各地域への整備を支援していくことは財政的にも負担が大きく、非常に厳しい状況である。町は、負担の軽減を図りながら整備ができるかを目指し、国の補助金をはじめとする財源の確保に向けて調査・研究を行っていく。

**問** 災害時の水の供給体制整備に、井戸の登録制度の導入の考えは。

**答** (くらし安全課長) 有事の際の生活用水の確保は大変重要であることから、井戸の登録制度の導入を念頭に置きながら、井戸に関する情報を有している黄瀬川地域地下水利用対策協議会、または各区の協力を得ながら、民間の井戸の実態把握を進めていきたい。

### 電気



LP ガス発電機

### 空調



ガスヒートポンプ エアコン

### 調理



炊き出し設備



LP ガス災害バルク

様々な活用が期待される災害バルク

出典：一般社団法人エルビーガス振興センター

**問** 防災事業費補助金制度の構築は。

**答** (くらし安全課長) 助成制度の構築により、地域特性に応じた資機材の整備や管理運営に伴う主体的な防災意識の醸成がなされ、自助・共助の意識の普及を図る上で大変有効と考えている。一方で各区の発災時の対応力に格差が生じるといった懸念もあることから、各自主防災会の意見を伺いながら検討をしていく。

質問者の動画が見られます



## 井戸の登録制度の導入を

問 GIGAスクール構想の方向性は

答 さらに効果的な活用を図る



松下 尚美

**問** GIGAスクール構想の実績と成果、課題は。

**答** (教育総務課長) 発表を伴う一斉学習活動において、児童生徒が相互の意見を即時に共有することができると。一人一人の反応を教員が把握できるため、授業展開の幅の広がりや効率化につながっている。課題は、教科の特性及び実態によって、タブレット端末を使用していない場面がある。どのように活用することが効果的か考察していくことが必要である。

**問** 情報モラル教育の進め方は。

**答** (教育総務課長) ルールやマナーなどを学校と家庭が共有して行うことが必要である。タブレット端末を活用した授業の導入前に使い方や注意点を始め、児童生徒の学年に応じた情報に対する責任や様々な利点なども段階的に教育している。

**問** 今後の目指す方向は。

**答** (教育長) この新たな教育の技術革新は、多様な子供たちを誰一人取り残さない個別最適化とともに、創造性を育む学びにも寄与し、特別な支援が必要な子供たちの可能性も大きく広げるものである。学校そして家庭でのさらなる効果的な活用を図り、「共に学び、支え合う環境づくり」の一助となるよう努めていく。

富士山南東スマートフロンティアとは

**問** 富士山南東スマートフロンティア推進協議会とは。

**答** (企画課長) 様々な地域課題の解決に向けた広域連携による取組を進め、民間企業との連携や先進技術の活用などの検討を行っており、それぞれの地域資源や主要プロジェクトなどの知見を共有し、

世界に発信できる魅力あるエリア形成を目指している。三島市、裾野市、長泉町の2市1町を構成市町として、令和3年8月18日に発足した。

**問** 今年度から協議会への参画した理由は。

**答** (企画課長) 町と2市1町とは、生活圏を一つ

にし、首都圏の子育て世帯から選ばれる転職なき移住をはじめ、今後解決していかなければならない行政課題についても、多くを共有している。

**問** 町が得られる効果は。

**答** (企画課長) 首長、管理職、担当者、それぞれのレベルで意見交換ができる。広域的に取り組むことのスケールメリットに加え、ふじのくにフロンティア地域循環共生圏として県の認定を目指しており、補助金の交付に当たり、複数市町で取り組む場合には、単独市町で申請した場合と比べ、補助限度額が増額となるという財政的なメリットがある。



広域連携で魅力あるエリア形成が望まれる

質問者の動画が見られます



## 問 災害時の障がい者等の避難支援は

### 答 避難支援マニュアルの策定等を進める



吉川 清里

**問** 個別避難計画が実際に機能するのか、避難訓練で検証を行う予定は。

**答** (福祉介護課長) 要支援者避難支援マニュアルの策定等を進めるとともに、各自防災会等関係機関との連携強化を図りながら、より実効性のある訓練ができるよう努めていく。

**問** 避難所となる学校体育館にはエアコンを設置すべきではないか。

**答** (くらし安全課長) 現状の学校体育館の構造上、単に空調設備を設置するだけでは、館内を十分に冷却することが困難であり、空調設備の設置は適切ではないと判断している。そのため、暑さ対策としては、空調設備を備えた教室を有効に活用していきたい。



防災訓練で行われた避難所の設営

質問者の動画が見られます



**問** 令和5年3月に地域防災計画が改定されたが、障がい者や高齢者等、避難に支援を要する方たちの具体的な避難方法についての個別避難計画は作成されているのか。

**答** (福祉介護課長) 要支援者の方々に災害から保護するために必要な支援を行う個別避難計画を整備している。本年度は民生委員の協力の下、高齢者実態把握訪問に合わせ、要支援者への再訪問や新たな対象者の追加など、計画の整備を改めて行ったところである。

**問** 避難所の運営は自主防災会が行うこととなっているが、開設者である町との連携は。

**答** (くらし安全課長) 町では日頃から各地区の自主防災会と研修会や防災訓練などを実施し、円滑な避難所運営ができるよう努めている。今後とも訓練など、常に危機感を持って町と自主防災会の連携を図っていく。

## マイナ保険証のトラブルは

**問** 町内でのマイナ保険証でのトラブルや町民からの問合せは。

また、医療機関で従来の保険証持参を勧めている医療機関はあるか。

町民からの問合せは、登録の内容に関する問合せが数件あった。従来の保険証の持参を勧めている医療機関は把握をしていない。

**答** (住民課長) 国民健康保険におけるマイナ保険証によるトラブルは一件あった。

問 西小外国籍支援員の拡充を

答 引き続き増員等の検討を進める



森野 夏歩

**問** 西小学校の外国籍児童数の推移は。また、現在の外国籍児童の国籍の内訳は。

**答** (教育総務課長) 平成26年度は36人、平成30年度は50人、本年度は61人で、年々増加傾向にある。

また、本年度の国籍別在籍数は、フィリピンが47人、ブラジルが9人、ペルー、ボリビア、タイ、ベトナムが各1人、日本語指導が必要な日本国籍の児童が1人となっている。

**問** 外国籍児童支援員の人数や出勤日数を増やす予定は。

**答** (教育総務課長) 外国籍児童数の増加に伴い、検討を進めているが、現支援員は他市町でも勤務しており、勤務日数を増やすことはできない状況である。新たな人材の確保にも努めているが、増員に至っていない。今後も外国籍児童数の増加が想定されるので、引き続き増員等の検討を進めていく。

**問** 現在配置のALTはフィリピン国籍で、学校生活の支援もしている。今後同様なALTの確保が望まれるが。

**答** (教育総務課長) 今後の更新においても、在籍する外国籍児童の国籍や母語の状況を踏まえ、自治体国際化協会へ派遣要望をしていく。

**問** 2か国語が話せるALTの確保が困難な場合、フィリピン語の対応ができる支援員の拡充が求められるがその対応、確保の対策は。

**答** (教育総務課長) 在籍する児童生徒の国籍や母語の状況に合わせ、拡充を検討しているところだが、単に通訳を行うだけでなく、学校の仕組みや教育、日本での生活を理解した上で、児童生徒たちや保護者への支援ができる人材を求めており、これらに適した人材の確保に苦慮している。このような状況を踏まえ、県の人材情報のほか、支援員、その他関係者を通じて紹介や求人募集などにより、適切な支援員の確保に努めていく。

歩いてくらしせるまちづくりを

**問** サントムーン前のスクランブル交差点の段差解消の予定は。

**答** (建設課長) 構造上の強度や排水処理を考慮すると、薄い歩車道境界ブロックに変更することは難しい状況だが、改めて利用者目線に立ち、今後少しずつでも段差を少なくする方法を考え検討していく。

**問** 歩道の休憩施設設置の現状は。

**答** (建設課長) 現在、町内の交差点4カ所に設置している。令和4年度には、2カ所に日よけ付きのベンチを設置した。今後は、さらに2カ所に日よけの付きのベンチの整備を予定しているところである。



外国籍児童に日本語指導を行う教室

質問者の動画が見られます



# ここが聞きたい

## 問 内水ハザードマップの策定を

### 答 早期の策定を目指し準備を進めていく



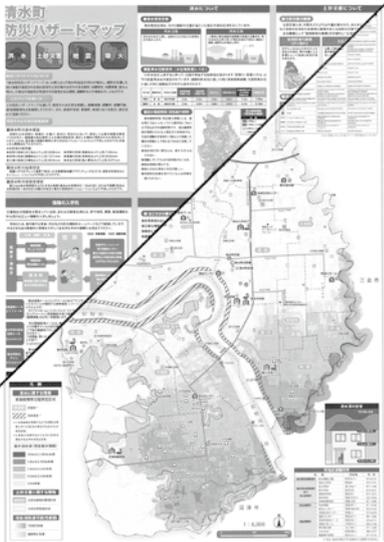
大濱 博史

内水ハザードマップの策定は必要である。

**問** 国の制度の活用等も含めた、本町の内水ハザードマップ策定期間は、

**答** (くらし安全課長) 策定には地形や管路、過去の浸水履歴など多くのデータが必要となり、相應の期間と費用負担の必要があるため財源確保をしつつ、早期の策定を目指し準備を進めていく。

**答** (くらし安全課長) 防災ハザードマップに示した浸水想定区域などの安全性を高めるためにも、



全戸に配布されている町のハザードマップ

## 認知症高齢者等にやさしい町づくりを

**問** 町が考える認知症高齢者にやさしい地域づくりとは。

**答** (福祉介護課長) 認知症高齢者が住み慣れた地域で生活し、家族も安心して日常生活を営むことができるよう社会の理解を深め、認知症の有無に

かわかわらず、同じ社会の一員として地域をともにつくっていくことを目指している。

**問** 本町が目指す「認知症高齢者にやさしい地域づくり」の課題と今後の方針は。

**答** (福祉介護課長) 認知症の進行に合わせ、どのような医療や介護サービスを受けることができるのか正しく理解してもらうことが課題である。今後は相談窓口の周知の強化など認知症高齢者にやさしいまちづくりの実現に努めていきたい。

## 第4期の定員管理計画の見直しは

**問** 第4期の定員管理計画が策定されたが、その内容は。

**答** (総務課長) 業務の継続に必要な人材の確保を柔軟に進める。令和5年度から9年度までの5年間で職員数を12人増員し、220人とする。

**問** 第4期の定員管理計画と施政方針には隔たりがあると捉えている。見直しが重要と考えるが、町長の考えは。

**答** (町長) 定員管理計画の想定値にとらわれることなく、新たな課題や行政需要等の発生により人

材不足が生じた場合は、計画の見直しを図る中で、町政を着実に推進するための人材確保と組織づくりに努めていく。

質問者の動画が見られます



令和4年度

# 政務活動費を公開します

## 令和4年度 政務活動費決算一覧表

(単位:円)

会派名	会派構成	会派への 交付額 (A)	会派での 支出額 (B)	内 訳				町への 返還額 (A-B)
				調査研究 ・研修費	資料作成 ・購入費	広報・ 広聴費	事務所費	
日本共産 党議員団	森野善広 吉川清里	300,000	104,692	0	31,476	73,216	0	195,308
湧創フォ ーラム	佐野俊光 松浦俊介 飯田安雄	450,000	168,035	16,080	131,000	20,955	0	281,965
新生会	秋山治美 岩崎高雄 渡邊和豊 大濱博史	600,000	74,838	10,720	43,718	20,400	0	525,162
光輝会	石垣雅雄 桐原直紀 山本文博 松下尚美 向笠 誠	750,000	212,351	212,351	0	0	0	537,649



政務活動費は、議員の調査研究その他の活動に資するため必要な経費の一部として、議会における会派に1人当たり年額15万円が交付されるものです。

各会派は、収支報告書に領収書を添付し、議長に提出しています。年度において残余額がある場合は、町に返還しています。

前年度に引き続き令和4年度も、コロナ禍の影響により、研修会への参加など政務活動に制約がありました。そのため、町への返還額が多くなっています。

議会ホームページはこちらから



光輝会による先進地の視察  
地域共創コンソーシアム（大正大学）  
自動運転バス・子育て支援施策（茨城県境町）

# 議会のしくみ その1

## 開 会

議長が開会を宣言します。



## 上 程

議案（条例や予算など）を議題とします。

## 説 明

町長が、議案の内容や提案理由を説明します。



## 質 疑

議案について、不明な点を執行部に聞きます。

## 委員会付託

議案をより深く審査するために、それぞれの委員会に審査を依頼します。

### 議案審査はどういう流れ？

町長から提案された議案（条例や予算など）が本会議に提出され、議決されるまでの主な流れを実際の議会の写真とともに紹介します。





# そこが知りたい!

## 閉 会

議長が閉会を宣言します。



- ①議長席
- ②演壇…議案の説明、答弁（主に町長や教育長）、委員長報告、討論を行います。
- ③執行部席…課長が答弁を行います。

## 採 決

議案について、可決か否決かを決定（議決）します。

## 討 論

議案に対して賛成か反対か、意見を表明します。

## 委員長報告

委員会での審査経過、結果を委員長が報告します。



- ④議員席…質疑は議員席から行います。
- ⑤発言席…一般質問を行います。
- ⑥傍聴席（28席）

## 委員会審査

それぞれの委員会で議案について詳細な説明を受け、質疑応答をして可否を決定します。



### ●総務建設委員会

総務、防災、建設、下水道、ごみ、税務、産業観光などに関する事項

### ●民生文教委員会

教育、学校、健康増進、医療保険、介護、福祉、子育て支援、社会教育に関する事項



清水町  
ふるさと大使

## 宮西達也さんの 絵本の世界にふれる

9月30日から開催した清水町出身の絵本作家、宮西達也さんの原画展で、お話を伺いました。

―子供の頃の町での思い出は。

たくさんさんの自然が身近にあり、町中を駆け回って遊んでいました。学校からの帰り道に寄り道をしたり、柿田川に入って遊んだりして、楽しかったです。

―絵本作家になろうと思ったのは。きっかけは。

大学生の時に人形美術のアルバイトをしたり、就職してデザイナーの仕事もしましたが、やっぱり絵を描きたいと強く思い、出版社に自分の絵を売り込みに行きました。

やがて、出版社が絵本を出してくれることになりました。やっと出たものの絵本を本屋さんで読んでいた子供が笑ってくれ、それを見て、絵本作家になろうと思いました。

―これからの町に期待することは。

風景は変わったけれど、柿田川は変わらない。たくさんさんの自然を残していつてほしいです。

―子供たちに伝えたいことは。ご自身の夢は。

自分が夢を掴んだように、子供たちにも夢を掴んでほしいです。大人たちの頑張っている姿を見せて、子供たちの目標になってあげたいと思っています。



ジオラマで絵本の世界を楽しむ子供たち

―来場者の方に感想を聞きました。

―宮西さんの魅力は。明るくて面白いところが魅力です。愛情あふれるお話も、可愛い絵も大好きです。

宮西さんの温かい絵本の世界と人となりに触れた一日でした。

多忙な中、丁寧に答えていただき感謝をいたします。

(インタビューー野田)



### お知らせ

#### 議会を傍聴 してみませんか

傍聴を希望する方は、本会議の当日、役場5階の受付係に申し出ていただき、傍聴券の交付を受けてください。

皆さんの傍聴をお待ちしています。

次の定例会は

**11月30日** 午前9時  
開会予定です。

### 編集後記



今年の夏は、30度以上の真夏日が約80日間になるなど記録的な暑さでした。また、最近の気象は、線状降水帯・ゲリラ豪雨などが起きることもあり、日頃からの防災意識を高めることが大切です。

さて、今回は、町民の皆様が議会を知っていたくため「そこが知りたかった」を掲載しましたが、機会を捉えて連載します。

今後も「議会だより」は皆様の意見を伺いながら、町民と町議会をつなぐ広報誌として充実に努めてまいります。

(野田)

#### 発行・編集責任者

議長 佐野 俊光

#### 広報広聴委員会

委員長 松下 尚美

副委員長 野田 敏彦

委員 大濱 博史

寺島 俊郎

田代 稔

森野 夏歩

この議会だよりは1万2700部製作し、1部当たりの製作費は約31円です。